

「税務大学校 公開講座」の御案内

税務大学校では、租税に関する知識の普及等に寄与することを目的として、公開講座を開催しています。

令和4年度は、「税を考える週間」(11/11～17)に合わせて、大学教授及び税務大学校職員等を講師に、普段はあまり税に接する機会のない方から、税に関する仕事に携わる方まで、多くの方に御参加いただけるよう、次のようなテーマで6講座を予定しています。

この機会に、是非御覧ください。

1 日程及び講座の内容

11月11日(金)8時30分から17日(木)17時まで

※この期間中は、いつでも受講可能です。

財産評価の課題と展望
～所得課税・資産課税における財産評価～

<講師>

中央大学法科大学院
教授 酒井 克彦



生活用動産の譲渡益や学資援助の
債務免除益に所得税は課されるか
～非課税所得をめぐる個別的検討～

<講師>

明治大学法科大学院
教授 岩崎 政明



国税庁・税務大学校が行う国際支援について
～アジアを中心とした開発途上国への技術協力～

<講師>

税務大学校 国際支援室
室長 今成 剛



贈与税の課税の対象となる財産について

<講師>

税務大学校 研究部
教授 森田 哲也



身近な酒税の豆知識
～「清酒」と「日本酒」は同じものですね?etc～

<講師>

税務大学校 専門教育部
教授 田口 義和



国際課税に関する
グローバルネットワークについて

<講師>

国税庁 国際業務課
国際課税分析官 鵜 彰博
(前税務大学校教授)



2 受講方法 インターネットによるオンデマンド配信

3 受講料 無料

4 申込方法 税務大学校ホームページの申込画面にて必要事項を入力
(申込画面は、税務大学校ホームページに後日掲載予定)



- ※ 申込みをされた方には、開催日までに案内メールをお送りします。
- ※ 1講座当たりの時間は約90分です。
- ※ 1講座のみの受講も可能です。

